

3 短期大学・高等専門学校

(1) 表5に示すとおり、平成26年3月卒業者のうちの就職者総数は671人で、前年と同数である。そのうち県内に就職した者は493人で、前年より18人減少している。県内就職率は73.5%で、前年より2.7ポイント低下している。

県内就職率を学科別でみると、教育学科、社会学科、家政学科で80%を超える高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は178人で、前年より18人増加している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄82人(46.1%)、関東54人(30.3%)、近畿18人(10.1%)、四国7人(3.9%)、中国7人(3.9%)、中部7人(3.9%)の順となっている。

進学者総数は242人で、前年より3人減少している。県内進学率は61.6%で、前年より4.5ポイント上昇している。

表5 学科別進路状況(短期大学・高等専門学校)

(単位:人、%)

区 分	総 数		人 文		社 会		工 業		農 業	
	26年3月	25年3月								
卒業生総数	1,064	1,057	200	195	82	78	158	153	32	33
就職者総数	671	671	139	127	35	35	104	100	17	20
就職率	63.1	63.5	69.5	65.1	42.7	44.9	65.8	65.4	53.1	60.6
うち県内就職者	493	511	104	116	31	35	29	19	7	10
県内就職率	73.5	76.2	74.8	91.3	88.6	100.0	27.9	19.0	41.2	50.0
進学者総数	242	245	26	40	35	20	52	47	14	13
進学率	22.7	23.2	13.0	20.5	42.7	25.6	32.9	30.7	43.8	39.4
うち県内進学者	149	140	6	15	30	20	30	21	-	-
県内進学率	61.6	57.1	23.1	37.5	85.7	100.0	57.7	44.7	-	-
一時的な仕事に就いた者	19	32	4	4	2	4	-	-	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	1.8	3.0	2.0	2.1	2.4	5.1	-	-	-	-
うち県内居住者	11	26	3	3	2	4	-	-	-	-
県内居住率	57.9	81.3	75.0	75.0	100.0	100.0	-	-	-	-
その他総数	132	109	31	24	10	19	2	6	1	-
その他の率	12.4	10.3	15.5	12.3	12.2	24.4	1.3	3.9	3.1	-
うち県内居住者	71	56	18	14	3	9	2	5	1	-
県内居住率	53.8	51.4	58.1	58.3	30.0	47.4	100.0	83.3	100.0	-

つづき

区 分	家 政		教 育		芸 術	
	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月
卒業生総数	146	150	283	291	163	157
就職者総数	111	127	231	232	34	30
就職率	76.0	84.7	81.6	79.7	20.9	19.1
うち県内就職者	89	102	212	211	21	18
県内就職率	80.2	80.3	91.8	90.9	61.8	60.0
進学者総数	21	13	27	35	67	77
進学率	14.4	8.7	9.5	12.0	41.1	49.0
うち県内進学者	4	2	27	34	52	48
県内進学率	19.0	15.4	100.0	97.1	77.6	62.3
一時的な仕事に就いた者	3	5	1	8	9	11
一時的な仕事に就いた者の率	2.1	3.3	0.4	2.7	5.5	7.0
うち県内居住者	3	5	1	7	2	7
県内居住率	100.0	100.0	100.0	87.5	22.2	63.6
その他総数	11	5	24	16	53	39
その他の率	7.5	3.3	8.5	5.5	32.5	24.8
うち県内居住者	6	4	21	13	20	11
県内居住率	54.5	80.0	87.5	81.3	37.7	28.2

(2) 図6に示すとおり、平成26年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が291人（43.4%、前年に比べ4.0ポイント低下）で最も多く、次いで教育、学習支援業62人（9.2%、同1.3ポイント上昇）、製造業53人（7.9%、同1.5ポイント低下）、卸売業、小売業46人（6.9%、同0.8ポイント低下）の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図7に示すとおり、医療、福祉が252人（51.1%、前年に比べ4.9ポイント低下）で最も多く、次いで教育、学習支援業54人（11.0%、同2.2ポイント上昇）、卸売業、小売業41人（8.3%、同0.1ポイント上昇）、金融業、保険業24人（4.9%、前年と同率）、宿泊業、飲食サービス業20人（4.1%、前年に比べ1.2ポイント上昇）の順となっている。

図6 産業別就職状況の推移（短期大学・高等専門学校）

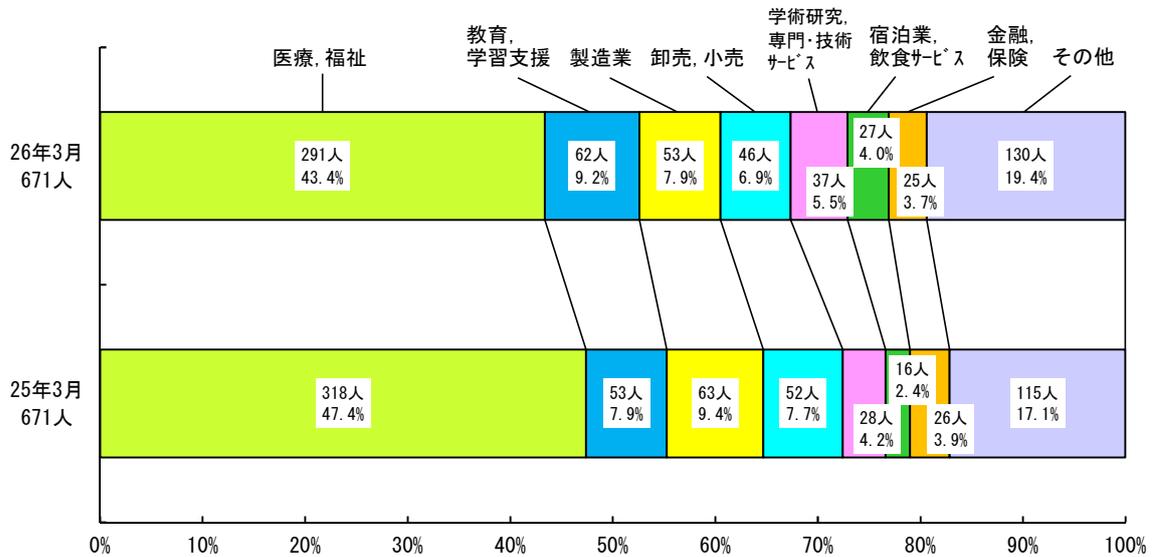


図7 産業別県内就職状況の推移（短期大学・高等専門学校）

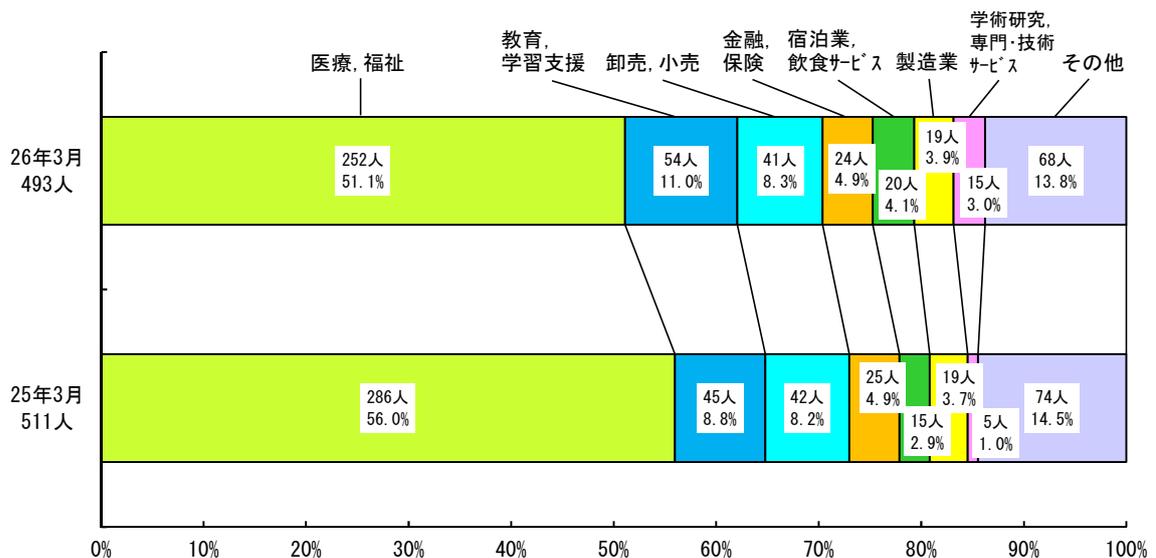


表3 県外就職者の就職先地方別状況

(単位：人、%)

区 分	県外 就職者数	県 外 就 職 者 の 内 訳							
		九州 ・ 沖縄	四国	中国	近畿	中部	関東	北海道 ・ 東北	その他
大学	1,531	512	37	86	174	78	535	10	99
構成比		33.4	2.4	5.6	11.4	5.1	34.9	0.7	6.5
短期大学・ 高等専門学校	178	82	7	7	18	7	54	2	1
構成比		46.1	3.9	3.9	10.1	3.9	30.3	1.1	0.6
専修学校 (専門課程)	408	249	9	16	43	6	82	-	3
構成比		61.0	2.2	3.9	10.5	1.5	20.1	-	0.7
高等学校	599	246	-	35	96	84	126	2	10
構成比		41.1	-	5.8	16.0	14.0	21.0	0.3	1.7
合計	2,716	1,089	53	144	331	175	797	14	113
構成比		40.1	2.0	5.3	12.2	6.4	29.3	0.5	4.2

注) 端数処理の関係で、各地方の構成比を合計しても100にならない場合がある。